

官民連携による良質な民間投資・公共空間の活用に向けて

1 福山駅周辺の現状

福山駅周辺エリアでは、官民連携により、伏見町を中心とするリノベーションまちづくり、中央公園でのPark-PFI、旧キャスパ等跡地の再整備、エフピコRiMリノベーション再生事業など具体的な取組が進み、魅力的なエリアに変わりつつある。今後、このエリアではエリア価値の向上に伴い、さらなる民間投資が期待される。

2 課題

- ・ウォークアブルの意味やまちづくりの方向性、考え方等のビジョン共有ができていない
- ・エリア価値に関心のある不動産オーナーに対して、行政としてどのような支援が必要か
- ・今後の大きな公共投資(駅前広場整備事業など)が動き始めた時の対応
- ・人を惹きつける魅力的なコンテンツ
- ・今後は自然発生的に良いものも、悪いものも生まれてくる状況となるが、どうコントロールするか
- ・デザインコード
- ・情報発信 など

3 今年度の取組

- ・エリア価値創造フォーラム(全5回)の開催
- ・官民連携による情報発信の仕組みづくり

